

地域の持続性に 貢献する **オンリーワン** 研究の展開

平成30年度 日本学術会議中国・四国地区会議主催

学術講演会

昨今、研究開発イノベーションの進展においては、今まさに世界で勝てる最先端かつ独創的な研究開発体制の構築と社会実装の促進が求められています。

「地域の知の拠点」として地域社会の展開に有形無形に関わってきた大学は、単なる教育研究機関としての役割だけでなく、産官学で密接に連携し、地域に根ざしたオンリーワン研究を展開することにより、新サービス、新事業を推進し、その成果を地域の人々の社会生活の向上に還元する使命を担っています。

本講演会では、鳥取大学における地域との連携研究の事例を中心に紹介し、地方大学として“地域の持続性に貢献できるオンリーワン研究とは何か”を議論します。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

本講演会は **一般公開** **事前申し込み不要** **入場無料** です。

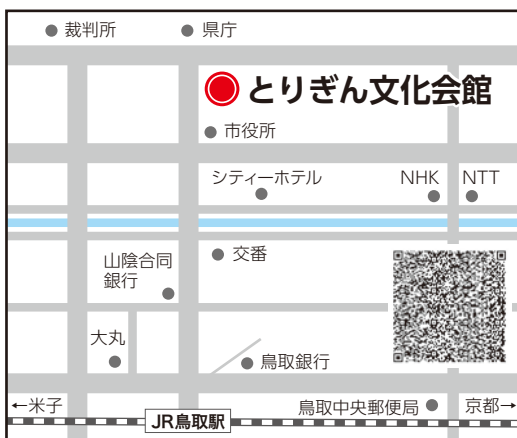
平成30年

11月17日 **土**
13:30~17:25

会場

とりぎん文化会館
(鳥取県立県民文化会館)
第2会議室

鳥取県鳥取市尚徳町101番地5



お問い合わせ先

鳥取大学 研究推進部研究推進課

TEL 0857-31-5609

ken-somu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

プログラム

program

開会挨拶 13:30~13:50

渡辺 美代子 日本学術会議副会長(科学技術振興機構副理事)

神谷 研二 日本学術会議中国・四国地区会議代表幹事(広島大学副学長)

豊島 良太 鳥取大学長

基調講演 13:50 ~15:10

①『オンリーワンを目指した鳥取県の取り組み(大学研究の必要性)』

岡村 整諮 鳥取県統轄監

②『鳥取砂丘から世界の乾燥地研究へ ~乾燥地におけるSDGs達成への挑戦~』

山中 典和 鳥取大学乾燥地研究センター長・教授

休憩 15:10 ~15:30

シンポジウム 15:30~17:15

①『生業・生活多世代共創コミュニティモデルの開発』

家中 茂 鳥取大学地域学部・教授

②『鳥取大学医学部附属病院にロボット支援手術がもたらしたもの』

武中 篤 鳥取大学医学部附属病院 副病院長・教授

③『カニ殻由来の新素材「キチンナノファイバー」を

活用した学術研究と地域産業の創出』

伊福 伸介 鳥取大学工学部・教授

閉会挨拶・総括 17:15~17:25

枡見 吉晴 鳥取大学理事(研究担当)・副学長

主催:日本学術会議中国四国地区会議

共催:鳥取大学

後援:鳥取県